



2022年3月16日

各位

会社名 株式会社丸千代山岡家
 代表者名 代表取締役社長 一由 聡
 (JASDAQ・コード3399)
 問合せ先 取締役財務経理部長 太田 真介
 TEL 029-896-5800

2022年1月期業績予想との差異及び特別利益並びに特別損失発生に関するお知らせ

2021年3月16日付「2021年1月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました、2022年1月期通期(2021年2月1日～2022年1月31日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年1月期業績予想との差異
 通期(2021年2月1日～2022年1月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,479	362	400	209	86.57
実績値 (B)	15,122	299	344	386	158.04
増減額 (B) - (A)	△357	△63	△56	177	—
増減率 (%)	△2.3	△17.4	△14.0	84.7	—
(ご参考) 前期実績 (2021年1月期)	14,265	322	374	141	58.64

2. 差異発生の理由

売上高、営業利益、経常利益は、8月～9月の緊急事態宣言及び1月中旬からのまん延防止等重点措置に伴う営業時間短縮の影響が大きく、上記の通りとなりました。また、特別利益において、国及び地方自治体からの要請に従い、店舗休業及び時間短縮営業を実施したことにより交付された助成金や受取保険金等を549百万円計上、特別損失において、固定資産除却損や減損損失257百万円を計上し、当期純利益は386百万円(当初予想比177百万円の増加)となりました。

3. 特別利益の発生

第4四半期において、国及び地方自治体からの要請に従い、店舗休業及び時間短縮営業を実施したことにより交付された助成金等を159百万円計上いたしました。その他、受取保険金60百万円など通期で549百万円の特別利益を計上いたしました。

4. 特別損失の発生

業績不振店の一部について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、収益性の低下による減損の兆候が認められたことなどから、将来の投資回収可能性を再検討した結果、第4四半期に9店舗の減損処理を行ったことにより、第4四半期において減損損失174百万円を計上し、その他固定資産除却損11百万円など通期で257百万円の特別損失を計上いたしました。

※なお、上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上